

2025 年度（令和 7 年度）

履 修 要 項

千葉大学大学院人文公共学府
(博士後期課程)

目 次

はじめに	1
1 人文公共学府の概要	1
(1) 教育プログラム	1
(2) 人文公共学府の構成	2
2 履修	3
(1) 修了要件及び修了に必要な単位	3
(2) 留学	4
(3) 大学院共通教育	4
(4) 履修登録	4
(5) 成績評価	5
(6) 学府における研究指導	6
3 学位の取得	7
(1) 学位取得への道すじ	7
(2) 学位論文の審査基準	8
(3) 学位	8
(4) 学位論文の公表	8
(5) 保存のための学位論文の提出	8
(6) 早期修了制度による学位論文の提出	8
4 修了までの年次別手順	9
(1) 3年間による修了の場合	9
(2) 3年6か月間による修了の場合	9
5 事務手続等	10
(1) 授業・履修・学生生活等に関わる通知	10
(2) 各種手続	10
(3) 指導教員の変更	11
(4) コースの変更	11
(5) 科目区分変更手続	11
(6) 海外渡航	11
(7) 単位互換	11
(8) 長期履修学生制度	11
(9) 教育方法の特例	11
(10) 研究倫理審査	11
6 授業科目表(別表1)	12
自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の措置について	14
授業時間割表	15

はじめに

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）では、以下のように学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定めています。

「自由・自立の精神」

- ・人文科学及び公共学・社会科学の分野において、行政や国際機関を含む社会の多様な研究・教育機関の中核を担う研究者もしくは大学教員を目指す人材として、自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を行うことができる。
- ・人文科学及び公共学・社会科学の分野における研究倫理を身につけている。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

- ・人文科学及び公共学・社会科学の分野において広範な視野と多様な視点を持ち、国内外の専門機関や研究者と協働し、自ら課題を設定し自立的な研究開発を行うことができ、その成果を国際的・学際的に発信できる。また、公共性を身につけた研究教育者あるいは国内外の機関を指導する人材として活動するための基礎として、多様な文化・歴史に対する理解がある。
- ・自己の国際経験を生かし、先導的に学問の発展に寄与することができる。

「専門的な知識・技術・技能」

- ・人文科学及び公共学・社会科学の分野において、創造性に富む高度な研究・開発能力と豊かな学識を持ち、新たな知見や価値の創出に貢献でき、イノベーション創出の実践を目指すことができる。また、幅広く専門的および公共的知識に基づく研究遂行能力を生かして、高度な研究開発プロジェクトの企画・管理を行うことができる。

「高い問題解決能力」

- ・人文科学及び公共学・社会科学の分野において、多様な専門領域の情報・知識を他者と共有し、公共的知見を具備した指導者として協調・協働し、知識集約型社会を支える新たな知見や価値を創出できる。

人文公共学府の教育課程は、以上のような学位授与の方針に基づいて構成されています。この履修要項では、学位取得に向けた諸手続や履修方法について説明しています。

1. 人文公共学府の概要

(1) 教育プログラム

人文公共学府の教育プログラムは、「授業科目」と「研究指導」に分類されます。

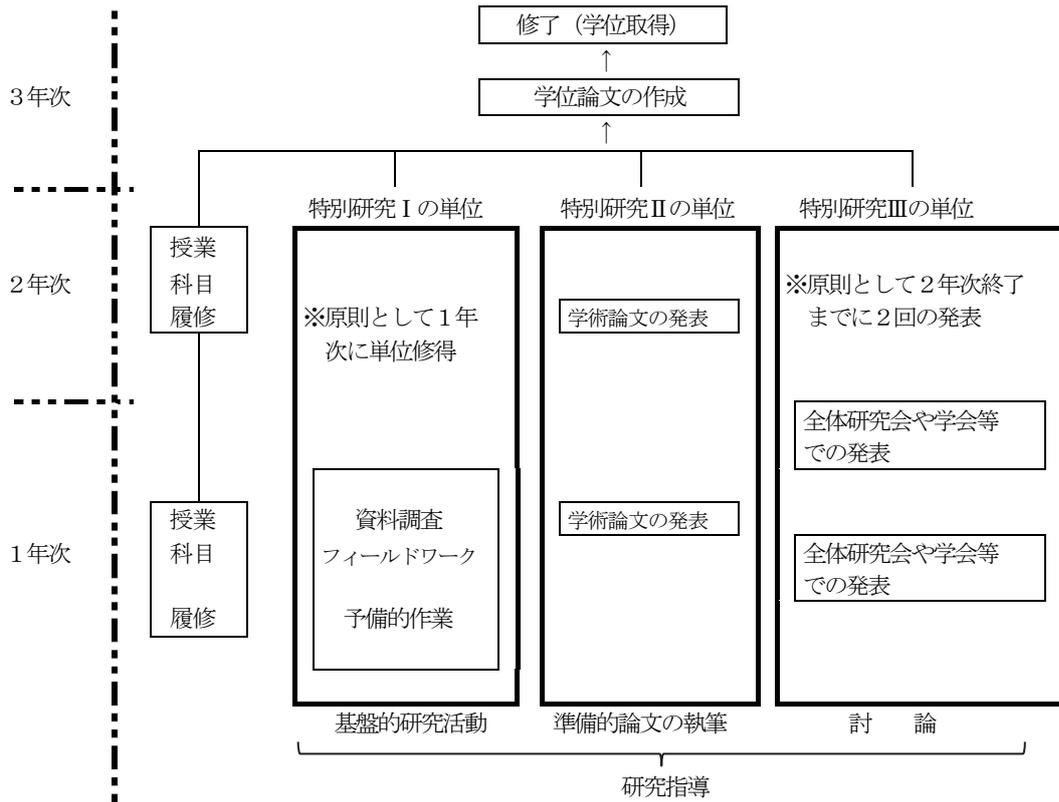
授業科目（→2.（1）参照）

- 1) 授業科目表は「6. 授業科目表（別表1）」に掲載するとおりです。
- 2) 授業では、演習形式の授業に重点がおかれます。

研究指導（→2.（6）参照）

- 1) 研究指導は、学位論文の作成などに対する指導を内容とします。
- 2) 研究指導は、主任指導教員1名及び副指導教員2名の教員がチームとなって行います。
- 3) 研究指導においては、学内外での学術論文の発表と口頭による研究発表を義務付けます。原則として2年次終了までに、毎年学府主催で開催する全体研究会や学会等において2回発表するものとします。
- 4) 研究指導においては、共同研究を重視します。学生には、人文科学研究院・社会科学研究院等の研究センターで組織される研究プロジェクトへの参加を奨励します。研究プロジェクトに参加して活動した実績は単位（科目「プロジェクト研究Ⅰ～Ⅱ」）としても認定されます。また、学生が外国の研究機関等で研修することを奨励します。
- 5) 社会人学生には、教育方法の特例により、便宜をはかります。

教育プログラム構成図



(2) 人文公共学府の構成

人文公共学府（博士後期課程）は、右の1専攻、3コースからなります。

専攻	コース
人文公共学専攻	人文科学コース
	公共学コース
	社会科学コース

- 1) 「人文科学コース」は、人文科学に関わる基盤的専門分野に対応した高度な専門的知識を提供する科目を配置し、各自が選択した専門性に基づいて選択必修科目を選択します。専門分野や対象を限定し、深く掘り下げた博士論文テーマであると評価された場合に「博士（文学）」を授与します。人文科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に「博士（学術）」を授与します。
- 2) 「公共学コース」では、政治学・政策学・国際関係論分野の「公共性」にかかる科目を中心に配置し、「福祉」「環境」「地域」といった学際的問題について、グローバルかつローカルな視点から学ぶことを可能とします。「公共学コース」で授与する学位は「博士（公共学）」を基本とし、公共学及び社会科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に、「博士（学術）」を授与します。
- 3) 「社会科学コース」では、法学・経済学分野の高度な専門的知識を提供する科目を配置し、社会のさまざまな課題の本質を理解し新たな解決策を理論的に導く人材を養成します。「社会科学コース」で授与する学位は「博士（法学）」ないし「博士（経済学）」を基本とし、法学ないし経済学及び社会科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に、「博士（学術）」を授与します。

2. 履修

(1) 修了要件及び修了に必要な単位

本学府を修了して博士の学位を取得するには、3年以上在学し、共通基礎科目1単位、実践科目4単位、論文指導科目5単位、専門科目4単位、自由選択科目2単位の計16単位以上を、人文公共学府又は千葉大学大学院が開講する留学科目の単位を含んで修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。ただし、優れた研究業績をあげた者は、1年以上3年未満の在学で修了することもできます。最長在学年限は6年です。

必要単位の区分は、以下のとおりです。

区分	科目	履修年次	単位	小計	合計
共通基礎科目	人文公共学リサーチ方法基礎論	1	1単位	1単位	16単位
実践科目	授業（演習・実習）科目	1・2・3	4単位	4単位	
論文指導科目	特別研究Ⅰ	1	1単位	5単位	
	特別研究Ⅱ	1・2	2単位		
	特別研究Ⅲ	1・2	2単位		
専門科目	授業（演習）科目	1・2・3	4単位	4単位	
自由選択科目	授業（演習）科目	1・2・3	2単位	2単位	

※ 他の大学院（協定校等）又は千葉大学大学院の他の研究科等で修得した単位は、入学前の既修得単位の認定単位と合わせて8単位までを限度として、本学府で修得した単位として認定されることがあります。手続については人系学務課大学院学務室に問い合わせてください。

1) 「共通基礎科目」1単位（必修）

1年次に「共通基礎科目」として公共学的視点と高い研究倫理性を身に付ける「人文公共学リサーチ方法基礎論」を履修します。1年次に必ず履修してください。

2) 「実践科目」4単位（選択必修）

「実践科目」では、「公共学的視点」に基づく実践的研究活動を行うための協働力、企画力、運営力や国際的発信力を身に付けます。具体的には、「プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」「国際インターンシップA・B」「国際研究実践論A～C」「海外／国内フィールドワーク」「人文公共学特別演習」の履修がこれにあたります。

3) 「論文指導科目」5単位（必修）

入学後、主任指導教員1名、副指導教員2名により「論文指導科目」を担当する体制が決定されます。「論文指導科目」である「特別研究Ⅰ～Ⅲ」の単位を修得することにより学位論文提出資格が与えられます。

- ① 「特別研究Ⅰ」1単位は、指導教員の指導のもとで、学生が研究計画を策定し、「年次研究計画書」として指導教員に申請し、承認を受けた1年次の研究活動の遂行とその報告によって与えられる単位です。例としては、国内諸機関の訪問、海外留学などによる資料収集活動、海外現地での教員や学生との交流、また学問分野によっては、実験やフィールドワーク、博士論文作成と有機的に関連づけられた予備的作業・社会的活動などが含まれます。また、本学府と提携関係にある大学院において研究指導の一部を受ける、あるいは授業単位を修得することなども推奨されます。この「特別研究Ⅰ」は、博士論文執筆に向けて行われる基盤的研究活動に対して与えられる単位ですから、原則として1年次に単位を修得してください。
- ② 「特別研究Ⅱ」2単位は、指導教員の指導のもとで、博士論文の中間段階として、審査付き学術雑誌に1篇、ないしは審査のない学術雑誌（本学府の紀要を含む。ただし、プロジェクト研究報告書は除く。）に2篇の学術論文（研究ノート等を認めるかについては主指導教員の判断による）を掲載した場合に与えられる単位です。いずれの論文も博士論文作成過程との有機的連関が求められます。また、いずれの場合にも、論文は初出のものとし、指導教員の査読を経なければなりません。原則として、2年次までに単位を修得してください。

③ 「特別研究Ⅲ」 2単位は、指導教員の指導のもとで、各年度に2回（第3ターム、第6ターム）行われる学府主催の全体研究会、学術団体主催の学会、後期課程学務委員会の指定する研究会のいずれかにおいて、執筆予定の博士論文に即したテーマで、2回研究報告を行った場合に与えられる単位です。なお、学術団体主催の学会における研究報告を特別研究Ⅲの単位申請に用いる場合、後期課程学務委員会による認定が必要です。全体研究会における研究報告は、博士論文執筆の準備となるべきものですから、原則として2年次終了までに研究報告を行い、単位を修得していなければなりません。なお、上記「特別研究Ⅰ」に関連する研究活動のために、学生が6ヶ月以上、長期に海外研修を行う場合には、6ヶ月ごとに4000字以上（様式は任意）の研修報告を指導教員に提出し、承認を受けることによって、全体研究会での1回の発表と換算することができます。ただし、休学して海外研修を行う場合などには、上記措置は適用されません。原則として、2年次までに単位を修得してください。

4) 「専門科目」 4単位（選択必修）

「専門科目」は、所属するコースで開講されている授業科目です。詳しくは別表1を参照してください。

5) 「自由選択科目」 2単位（選択必修）

「自由選択科目」は、人文公共学府または千葉大学大学院の他の研究科等で開講されている科目から能動的かつ自由に選択することができます。専門科目を自由選択科目にする場合には、単位修得後に科目区分変更手続を行う必要があります。

(2) 留学

本学府を修了するためには、在学中に1回以上留学し、留学科目の単位を修得することが必須となります。学府開講科目の中では、次に掲載する科目（以下、学府開講留学科目と呼ぶ）のいずれかの単位を修得することで、留学が認定されます。

学府開講留学科目	「国際インターンシップA・B」「海外フィールドワーク」「国際研究実践論A・B」「留学認定特別演習※」
----------	--

※「留学認定特別演習」は、オンライン学修と外国語によるプレゼンテーションに基づき留学を認定する科目であり、海外渡航は伴いません。

なお、学府開講留学科目以外でも、大学院共通教育科目の留学プログラムに参加し、当該科目の単位を修得することで、留学が認定されます。

渡航留学及び「留学認定特別演習」によるオンライン留学ができない事情がある場合には、人社系学務課大学院学務室にご相談ください。外国人留学生については、留学を希望しない場合には、Moodle コース「人文公共学府提出物様式 Submission Forms」から留学免除を申請できます。

(3) 大学院共通教育

千葉大学では総合大学である特色を生かし、大学院共通教育科目を開講しています。所属する研究科、学府に関わらず履修可能な大学院横断型の授業が多数用意されています。詳しくは以下のWEBサイトを参照し、関心に応じて履修してください。（「千葉大学大学院共通教育」<https://www.cphe.chiba-u.jp/graduate-common/>）

(4) 履修登録

1) 第1～6タームの履修科目を①「履修計画表」(Moodle コース「人文公共学府 提出物様式 Submission Forms」に掲載)に記入し、主任指導教員の確認を得て、4月末日までに人社系学務課大学院学務室に提出するとともに、②学生ポータル (WEB 登録)にて履修登録期間中に学生本人が登録してください。プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ、国際インターンシップA・B、海外/国内フィールドワーク、国際研究実践論A～C、特別研究Ⅰ～Ⅲについては、担当教員に相談してください（学生ポータルでの履修登録は不要）。学生ポータル (WEB 登録)にて履修登録がされていないと単位の修得ができません。履修登録・修正期間を過ぎた履修登録や取消は原則として認められませんので、各自の責任において十分注意してください。

なお、ほとんどの専門科目は、連続したターム（第1・2、第4・5ターム）で開講されているため、中途（第2、5ターム）からの受講ができませんので、ご注意ください。

共通基礎科目、実践科目、論文指導科目は履修年次・タームが決まっていますので、ご注意ください。

<p>履修登録方法</p> 	<p>① 「学生ポータル」 https://portal.gs.chiba-u.jp/ にアクセスする。</p> <p>② 「履修登録・WEB 成績閲覧」メニューをクリックし、Google Workspace アカウント（学生証番号@student.gs.chiba-u.jp）でログインする。</p> <p>③ Campus Plan メインメニューに遷移した後、「Web 履修申請」アイコンから履修登録を行う。</p>
---	---

- 2) 4月の段階で登録していなかった第2ターム以降の科目について履修する場合には、各タームの履修登録期間中に学生ポータル（WEB 登録）にて学生本人が登録することで、追加登録することができます。追加登録等を行った場合に、再度「履修計画表」を提出する必要はありません。
- 3) 各授業科目は、各タームの授業開始日からの1週間に1回目の授業が行われます。学生ポータルからWEB シラバスを閲覧し、開講場所を確認してください。表記の無い場合は各担当教員の研究室で開講されます。集中講義の日程等については掲示します。
- 4) 単位認定された同一の科目をもう一度履修することはできません。また、内部進学者の場合等で、本学府の博士前期課程で「国際インターンシップA・B」の単位認定がされている場合は、博士後期課程で同一の科目をもう一度履修することはできません。
- 5) 第3ターム又は第6タームの開講科目を修了予定学期に履修希望の場合は、大学院学務室にお問い合わせください。（該当タームの開講科目については、時間的制約から、修了判定の時点までに単位認定が間に合わないおそれがあります。）
- 6) 同一の研究業績を用いて、複数の授業科目の単位認定申請をすることはできません。
- 7) 年次進行により科目編成が変更されることで、開講されなくなる科目が生じることがあります。このような科目は履修することができません。年次進行により科目編成が変更されることで、新規に開講される科目が生じることがあります。このような科目は、要件を満たすことにより履修することができます。

(5) 成績評価

成績評価は、出席状況、レポート、期末試験等を総合して行います。その具体的な評価方法は科目ごとに異なっており、それらは、WEB上のシラバスに、科目ごとに掲載されています。

成績の評価方法は、多くの科目は5段階評価（下表）ですが、一部の科目は「合格・不合格」による評価となっています。

評語	評点	評語の解説
秀	100～90点	学習目標を十分に達成したものと認められ、特に優れた成績である。
優	89～80点	学習目標を達成したものと認められ、優れた成績である。
良	79～70点	学習目標の根幹的な部分は達成したものと認められ、妥当な成績である。
可	69～60点	学習目標の最低限は達成できたと認められる成績である。
不可	59～0点	学習目標の最低限が達成できていないと認められる成績である。

合格・不合格で評価される科目

国際インターンシップA・B、海外／国内フィールドワーク、国際研究実践論A～C、特別研究Ⅰ～Ⅲ、留学代替特別演習、ジョブ型研究インターンシップ

成績評価基準（対象：履修登録者20名以上の講義科目。演習・実習科目は対象外とする。）

- ① 原則として、履修登録者に占める「優」の割合は40%以内とし、「秀」の割合は20%以内とする。
- ② 該当する科目の担当教員は成績認定済みの授業科目の成績分布を、学生ポータルを通じて公示する。

成績評価に疑義がある場合は、「成績評価に関する異議申立書」を成績公表後15日以内（修了時を除く）に人社系学務課大学院学務室に提出することにより異議申し立てができます。

(6) 学府における研究指導

学生の「研究活動」という観点から見ると、本学府における教育は次のような制度になっています。

- 1) 主任・副指導教員は、入学願書の記載と選抜試験によって、入学後に確定されます。主任指導教員（1名）は選択したコースを担当する教員、副指導教員（2名）は本学府の研究指導にあたる教員が担当し、この3名で指導教員チームを構成します。指導教員チームは、学生の研究の進捗状況を常に把握し、研究の方法、内容等について適切な助言を与えます。
- 2) 学生は、指導教員チームの助言を得ながら、1年次の研究スケジュールを記載した「年次研究計画書」を作成して、入学年度の5月末までに提出します。また、毎年5月末までに主任指導教員と「研究指導計画書」を作成します。

「特別研究Ⅰ」の単位は、原則として1年次の「年次研究計画書」において申請した1年次の研究計画の実施に対して与えられる単位ですから、その点に留意した上で計画を策定してください。（前述「論文指導科目」①「特別研究Ⅰ」参照）1年次末には、博士論文作成に向けた基盤的研究活動の成果の概要を、「特別研究Ⅰ単位認定申請書」にまとめて主任指導教員に提出します。
- 3) 学生は、年2回（第3ターム、第6ターム）、原則として教員・学生の全員が参加して開催される「全体研究会」等において、2年次終了までに、博士論文の課題に関連したテーマで少なくとも2回の研究発表を行います。全体研究会等で報告を行った場合には、その都度「特別研究Ⅲ単位認定申請書」に記載し、2回目の研究報告が終了してから、主任指導教員に提出してください。（前述「論文指導科目」③「特別研究Ⅲ」参照）
- 4) 学生は、学位論文を作成する前に、「学術論文」1篇ないし2篇を、学術雑誌等に発表します。これは、学位論文の作成準備の過程で、前提として解決しておくべき論点、関連ある論点又は学位論文のテーマの一部について論文を発表しておき、最終的にこれらを学位論文の中に織り込む、というプロセスを想定したものです。

必要な論文の点数は、審査のあるもの（審査を経て掲載が許される学会誌などに掲載されたもの）の場合は1篇、そうでない場合は2篇です。本学府の紀要（『人文公共学研究論集』）に発表された論文は、「審査のない学術論文」として数えられます。（前述「論文指導科目」②「特別研究Ⅱ」参照）

ただし、プロジェクト研究報告書を「特別研究Ⅱ」の学術論文として使用することはできません。

なお、他の著者と共同して論文を執筆したときは、学生がその論文について半分を超える寄与をしている必要があります。寄与の割合については、論文の筆頭執筆者の説明を求めることがあります。

査読付の論文1篇ないし、査読なしの論文2篇を発表した場合には、「特別研究Ⅱ単位認定申請書（掲載された学術雑誌等の該当部分（抜刷可）及び表紙のコピーを3部添付）」を主任指導教員に提出してください。

3. 学位の取得

(1) 学位取得への道すじ

1) 学位論文構想の提出

2年次始め（標準在学年限の場合。以下同じ。）に、指導教員チームの承認を得て「学位論文構想」を提出します。これは、学位論文の章・節などの構成の概要と、研究スケジュールの概略等を記載したものです。

2) 学位論文予備審査（学位論文計画書の提出）

学位論文提出の前に、「学位論文計画書」を指導教員チームに提出し予備審査を受けます（提出時期については、「修了までの年次別手順」で指示）。「学位論文計画書」は、学位論文の章・節などの構成の詳細とそれぞれの内容の概要を記載したものです。論文提出資格を満たし、予備審査で論文計画が承認されれば、学位論文を提出することができます。

3) 論文提出資格の確認

学位論文を提出するためには、原則として2年次の終わりまでに、共通基礎科目1単位、実践科目4単位、論文指導科目（特別研究Ⅰ～Ⅲ）5単位、専門科目4単位、自由選択科目2単位を修得していなければなりません。その資格確認は、学位論文提出の4か月前までに行われます。

4) 学位論文審査（本審査）の申請

予備審査合格者は、学位論文審査の申請書類を、主任指導教員の承認を得た後、人社系学務課大学院学務室に提出します。様式の入手及び提出先は、Moodle コース「人文公共学府 論文提出（学生用）Dissertation Submission」です（証明書のみ原本を窓口提出）。提出期日が休業日の場合は、その次の平日を期限とします。

<学位論文及び「論文内容の要旨」の作成要領>

- ① 論文の長さは、和文の場合、概ね400字詰め原稿用紙300枚を基準とし、欧文の場合は、これに準じます。ただし、論文の長さは、専門領域により変更が可能です。
- ② 論文には、調査資料、史料、文献目録、図版等を付けることができ、その分量は特に限定しません。
- ③ 学位論文の提出に際しては、論文の要旨を添えてください。
- ④ 論文の要旨は、和文の場合は400字詰め原稿用紙10枚程度とし、欧文の場合は、これに準じます。ただし、論文要旨の長さは、専門領域により変更が可能です。

提出書類	提出期限
学位論文審査願	3月修了：
履歴書	10月1日
出身学校（最終学校）の卒業（修了）証明書（原本）	17時00分（厳守）
学位論文	9月修了：
論文内容の要旨	2月末日
研究業績目録	17時00分
研究業績論文	（厳守）

5) 学位論文審査

学位論文提出者ごとに設置された論文審査委員会において論文が学位に値するか否かを審査します。また、学位に付記する専門分野の名称を判定します。論文審査委員会は論文審査及び面接諮問による最終試験を行います。論文審査委員会の主査は審査結果報告書を学府長に提出します（3月修了は1月、9月修了は6月）。

6) 教授会の修了判定

3月修了の場合には1月、9月修了の場合には7月の教授会で判定します。

7) 修了者に対する学位授与

学位の授与は3月と9月に行います。

(2) 学位論文の審査基準

学位論文は、次のような基準により、審査されます。

- ① 学位論文が、先行する研究成果を正しく踏まえたうえで、十分な資料やデータを駆使し、「厳密な論理」と「独創性」によって導かれ、当該研究分野に対し、「新規性」のある知見を付与するものであること。
- ② 学位論文提出者が、研究における十分な「倫理性」を有し、自立した研究者として活躍しうる高度で公共的な研究能力を発揮し得ることが認められる論文であること。
- ③ 学位論文提出者が、高度で公共的な専門的業務を遂行するに必要な能力と学識、倫理観を有すると認められる論文であること。

(3) 学位

各コースにおいて授与される学位及び付記する専門分野の名称は、次のように定められています。専門分野の名称については、1. (2) を参照してください。

人文科学コース	博士（文学）、博士（学術）
公共学コース	博士（公共学）、博士（学術）
社会科学コース	博士（法学）、博士（経済学）、博士（学術）

(4) 学位論文の公表

学位取得者は、学位論文を原則としてインターネットにより公表するものとします。

なお、インターネット公表に当たり、学位論文を掲載した CD 及びインターネット公表確認書を学位取得後の別途指定する日までに提出するものとします。

(5) 保存のための学位論文の提出

学位申請者は、教授会の行う学位授与の判定が終了し、学位授与が決定した場合は、保存のための学位論文を別途指定する日までに、1部提出するものとします。製本要領については、Moodle コース「人文公共 論文提出（学生用）Dissertation Submission」をご覧ください。

(6) 早期修了制度による学位論文の提出

優れた研究業績をあげた学生は、修了に必要な単位を修得した場合、指導教員チームの助言に基づき、1年以上3年未満の在学により、学位論文を提出して、修了することができます。

早期修了の審査手続（在学期間特例申請の審査）については、別に定めるところによりますので、指導教員及び人社系学務課大学院学務室にご相談ください。

4. 修了までの年次別手順

(1) 3年間による修了の場合

※提出期日が休業日の場合は、その次の平日を期限とします。

年次	事項	提出期限等		確認欄
		4月入学、 3月修了	10月入学、 9月修了	
1年次	①指導教員届の提出	4月20日	10月20日	
	②年次研究計画書の提出	5月末日	11月末日	
	③研究指導計画書の提出	5月末日	11月末日	
	④共通基礎科目（必修）1単位の履修	第1ターム	第4ターム	
	⑤特別研究Ⅰ単位認定申請書の提出	1年次末	1年次末	
2年次	⑥学位論文構想の提出	5月末日	11月末日	
	⑦研究指導計画書の提出	5月末日	11月末日	
	⑧第1回全体研究会	9月中～下旬	3月上～中旬	
	⑨第2回全体研究会	3月上～中旬	9月中～下旬	
1～2年次 の間	⑩履修計画表（WEB履修登録も必要）	4月末日	10月末日	
	⑪特別研究Ⅱ・Ⅲ単位認定申請書の提出	2年次末	2年次末	
	⑫実践科目、専門科目、自由選択科目の履修	2年次末	2年次末	
3年次	⑬学位論文計画書の提出（予備審査）	5月末日	10月末日	
	⑭論文提出資格確認願の提出	5月末日	10月末日	
	⑮研究指導計画書の提出	5月末日	11月末日	
	⑯学位論文審査申請書類の提出（本審査）	10月1日	2月末日	
	⑰最終試験（口頭試問）	12月末頃	6月末頃	
	⑱保存のための学位論文の提出	3月下旬	9月下旬	

(2) 3年6か月間による修了の場合

※提出期日が休業日の場合は、その次の平日を期限とします。

年次	事項	提出期限等		確認欄
		4月入学、 9月修了	10月入学、 3月修了	
3年次	⑯学位論文計画書の提出（予備審査）	10月末日	5月末日	
	⑰論文提出資格確認願の提出	10月末日	5月末日	
	⑱学位論文審査申請書類の提出（本審査）	2月末日	10月1日	
	⑲最終試験（口頭試問）	6月末頃	12月末頃	
	⑳保存のための学位論文の提出	9月下旬	3月下旬	

5. 事務手続等

原則として全ての手続について、様式の入手及び提出先は、Moodle コース「人文公共学府 提出物様式 Submission Forms」です。

(1) 授業・履修・学生生活等に関わる通知

- 1) 「学生ポータル」 (<https://portal.gs.chiba-u.jp/>) では履修登録のほか、シラバス、休講情報、成績、大学からの通知等を確認することができます。大学から交付される Google Workspace アカウント (学生証番号 @student.gs.chiba-u.jp) でログインして利用してください。
- 2) 千葉大学から交付されるメールアドレスに対して、大学からの重要なお知らせが配信されることがありますので、確認を怠らないようにしてください。
- 3) 人文公共学府の屋内掲示板 (文学部棟1階入り口左手) には、学生ポータルに掲示していない情報もありますので確認するようにしてください。

(2) 各種手続

種別	概要
証明書関係	各種証明書の発行 「証明書発行サービス」を利用して、必要な証明書の申請を事前に実施いただき、学生支援課 (学生支援プラザ内) に設置された発行機から、在学中は各種証明書を発行することができます (無料/平日8:30~17:00)。また、同サービスでは、対応するコンビニエンスストアのマルチコピー機から、各種証明書を発行・取得することも可能です (有料)。 ※ 成績証明書は1年次第4ターム以降 (10月入学者は1年次第1ターム以降)、修了見込証明書は2年次進級後に、発行・取得が可能になります。 ※ 証明書発行サービスに対応していない証明書 (指定書式の証明書など) が必要な場合には、Moodleコースで証明書交付願を提出してください。(発行まで所定の日数がかかるため、即日の発行には応じられません。余裕を持って早めに申し込んでください。)
身分関係	共通事項 <u>身分異動 (休学、休学延長、復学、留学、退学) を願い出る場合は、事前に主指導教員から承諾 (メール) を得る必要があります。</u>
	休学願 疾病その他の事由により <u>2ヶ月以上</u> 修学することができない場合、休学事由を付して休学を願ひ出てください (疾病の場合は、医師の診断書を添付してください)。 提出の期限は、 <u>原則として前期からの場合は2月末、後期からの場合は8月末</u> とします。休学の期間は通算して2年を超えることができません。休学期間の終了前に身分異動手続 (復学手続き等) がなかった場合には除籍になります。
	復学願 休学期間満了の場合、または休学期間であっても休学事由が消滅した場合には、 <u>原則として前期からの場合は2月末まで、後期からの場合は8月末までに</u> 、復学願を提出してください。(疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。)
	退学願 <u>退学しようとする日から起算して1ヶ月前までに</u> 手続を行ってください。なお、退学する学期の授業料を完納しなければなりません。
	住所・本籍変更、改姓、保証人変更届 本人や保証人の現住所、連絡先が変更になった場合は、学籍簿変更届を提出してください。また、学生ポータルに入力してください。本籍及び国籍の変更、改姓が生じた場合は、学籍簿変更届に公的証明書を添付して提出してください。
その他	学生証の再発行 紛失や盗難、在籍期間延長のために再発行が必要な場合は、学生証再発行申請書により再交付を申請してください。紛失による再発行の場合は再発行用カード (生協ブックセンター販売) の購入が必要になります。
	各種奨学金制度 日本学生支援機構奨学金、その他各種奨学金の詳細については、学務部学生支援課 (043-290-2178、2169) へ問い合わせてください。奨学金受給者で、休学等の身分異動や、氏名・現住所等の変更が生じた場合は、学務部学生支援課で手続が必要です。

(3) 指導教員の変更

指導教員を変更する場合には、速やかに「指導教員変更届」を人社系学務課大学院学務室に提出してください。

主任指導教員は所属するコースを担当する専任教員でなければなりません。各教員が担当するコースは、Moodleコース「人文公共学府 提出物様式 Submission Forms」掲載の教員名簿で確認してください。

(4) コースの変更

過剰な科目履修を伴わないコース変更（指導教員の変更）は2年次進学時まで可能な場合があります。コース変更を希望する場合には、1年次の7月末日又は1月末日までに「コース変更申請書」を希望するコースの指導希望教員に提出してください。コースの指導予定教員は、審査結果等を「コース変更申請書」に追加記入し、学府長あてに提出します。学府長は申請学生に変更の可否について通知します。なお、新たなコースの履修は、1年次第4タームまたは2年次第1タームからとなります。

(5) 科目区分変更手続

自由選択科目については、科目区分変更手続が必要となります。手続については、毎年度9・3月に別途周知します。

(6) 海外渡航

私事渡航を含めて海外に渡航（一時帰国）する場合には、必ず「海外渡航届」を人社系学務課大学院学務室に提出してください。これは、海外で災害・テロ・感染症発生等の緊急事態が発生した際、当該地域へ渡航中の学生の安否確認を迅速に行うためのものです。

また、渡航する前には外務省海外安全ホームページ (<https://www.anzen.mofa.go.jp/>) にて渡航先の国・地域の最新の海外安全情報を必ず確認するとともに、日本人学生は外務省が実施している渡航登録サービス（「たびレジ」又は「在留届」）に登録してください。海外保険及び海外安全危機管理サービス（OSSMA）加入（自己負担）も必要となります。詳しい情報については、「留学生課留学支援室ホームページ (<https://www.ryugaku.chiba-u.jp/others/crisis.html>)」を参照してください。

(7) 単位互換

在学中に協定校等の他の大学院において修得した単位については、本学府の単位としての認定を申請することができます。詳しくは人社系学務課大学院学務室にお問い合わせください。

(8) 長期履修学生制度

職業を有している等の事情で、通常の学生よりも1年間または1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、大学院博士後期課程の標準修業年限である3年間を超えた在学をしなければ課程を修了することができないと考える者は、長期履修学生の申請をし、その審査を受けることができます。詳細については、人社系学務課大学院学務室にお問い合わせください。

(9) 教育方法の特例

本学府では、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間に、授業または研究指導を行い、単位の修得を認めることがあります。

(10) 研究倫理審査

研究活動において調査等を実施する際、調査等の実施内容について研究倫理審査の必要がある場合は、主任指導教員が所属する部局の研究倫理審査委員会（担当：西千葉地区事務部研究推進課）で審査します。研究倫理審査の要否については、主任指導教員に相談してください。

6. 授業科目表（別表1）

※「英語開講」欄 ◎：英語授業実施を前提とする ○：受講者から要望があれば、担当教員の裁量により英語授業実施

※単位を修得済の科目と同一名称の科目を再履修することはできません。

（1）共通基礎科目

講義コード	授 業 科 目	開設単位			履修年次	英語開講	ナンバリングコード	必修・選択の別	履修方法
		講義	演習	実習					
D025100101	人文公共学リサーチ方法基礎論	Basic Research Methodology in Humanities and Public Affairs	1		1		DY701	必修	1単位を必修とする。
D025100102	人文公共学リサーチ方法基礎論（英語）	Basic Research Methodology in Humanities and Public Affairs (English)	1		1	◎	DY701	必修	
D025100103	人文公共学リサーチ方法基礎論	Basic Research Methodology in Humanities and Public Affairs	1		1		DY701	必修	

（2）実践科目

講義コード	授 業 科 目	開設単位			履修年次	英語開講	ナンバリングコード	必修・選択の別	履修方法
		講義	演習	実習					
D026100101	プロジェクト研究Ⅰ	Research Project I		2	1-3		DY711	選択	4単位以上の修得を必要とする。
D026100201	プロジェクト研究Ⅱ	Research Project II		2	1-3		DY712	選択	
D026100501	国際インターンシップA※	International Internship A		2	1-2		DY715	選択	
D026100502	国際インターンシップA※	International Internship A		2	1-2		DY715	選択	
D026100601	国際インターンシップB※	International Internship B		2	1-2		DY716	選択	
D026100602	国際インターンシップB※	International Internship B		2	1-2		DY716	選択	
D026101201	海外フィールドワーク	International Fieldwork		2	1-2		DY722	選択	
D026101202	海外フィールドワーク	International Fieldwork		2	1-2		DY722	選択	
D026101301	国内フィールドワーク	Domestic Fieldwork		2	1-2		DY723	選択	
D026101302	国内フィールドワーク	Domestic Fieldwork		2	1-2		DY723	選択	
D026100801	国際研究実践論A	Global Practical Research A		2	1-3		DY718	選択	
D026100901	国際研究実践論B	Global Practical Research B		2	1-3		DY719	選択	
D026101001	国際研究実践論C	Global Practical Research C		2	1-3		DY720	選択	
D026101101	人文公共学特別演習	Seminar on Humanities and Public Affairs	1		1-3		DY721	選択	
D026101601	留学認定特別演習	Global Study		2	1-3	◎	DY726	選択	
D026101501	ジョブ型研究インターンシップ	Job-based Research Internship	1		1-3	○	DY725	選択	

（注）博士前期課程で同一名称の科目（※）を履修し、単位認定されている場合には、同科目の履修はできません。

（3）論文指導科目

講義コード	授 業 科 目	開設単位			履修年次	英語開講	ナンバリングコード	必修・選択の別	履修方法
		講義	演習	実習					
D028100101	特別研究Ⅰ	Special Study I		1	1		DY901	必修	5単位を必修とする。
D028100201	特別研究Ⅱ	Special Study II		2	1-2		DY902	必修	
D028100301	特別研究Ⅲ	Special Study III		2	1-2		DY903	必修	

（4）専門科目

講義コード	授 業 科 目	開設単位			履修年次	英語開講	ナンバリングコード	必修・選択の別	履修方法
		講義	演習	実習					
人文科学コース									
D027100101	東洋哲学	Eastern Philosophy		2	1-3		DF801	選択	所属するコースで開講されている授業科目から4単位以上の修得を必要とする。
D027100201	現代哲学	Contemporary Philosophy		2	1-3		DF802	選択	
D027103601	分析哲学	Analytic Philosophy		2	1-3		DF836	選択	
D027104601	倫理学	Ethics		2	1-3	◎	DF846	選択	
D027104001	経験社会学	Empirical Sociology		2	1-3		DF840	選択	
D027100401	家族変動論	Sociology of Family Change		2	1-3		DF804	選択	
D027100501	福祉社会学	Welfare Society		2	1-3		DF805	選択	
D027100601	地域変動論	Sociology of Regional Change		2	1-3		DF806	選択	
D027104701	越境の社会学	Sociology of Border Crossings		2	1-3	○	DF847	選択	
D027100801	環境人類学	Environmental Anthropology		2	1-3	○	DF808	選択	
D027100901	医療人類学	Medical Anthropology		2	1-3	○	DF809	選択	
D027104801	言語人類学	Linguistic Anthropology		2	1-3	○	DF848	選択	
D027101101	ヨーロッパ古典文献学	Classical and Medieval Philology		2	1-3		DF811	選択	
D027101201	東アジア比較社会論	Comparative Study on East Asian Societies		2	1-3		DF812	選択	
D027104301	東アジア歴史社会論	Historical Study on East Asian Societies		2	1-3		DF843	選択	
D027104401	東南アジア歴史社会論	Historical Study on Southeast Asian Societies		2	1-3		DF844	選択	

講義コード	授 業 科 目		開設単位			履修 年次	英語 開講	ナンバ リング コード	必修・ 選択 の別	履修方法	
			講 義	演 習	実 習						
D027101401	イスラーム歴史社会論	History of the Muslim Societies		2		1-3		DF814	選択		
D027104101	日本歴史社会論	History of Japanese Societies		2		1-3		DF841	選択		
D027101601	ヨーロッパ近世社会論	Early Modern History of European Societies		2		1-3		DF816	選択		
D027101801	考古学	Archaeology		2		1-3		DF818	選択		
D027102001	ユーラシア言語論	Eurasian Linguistics		2		1-3		DF820	選択		
D027102201	ユーラシア民族論	Anthropological Study in Eurasia		2		1-3		DF822	選択		
D027102701	日本語学	Japanese Linguistics		2		1-3		DF827	選択		
D027103701	日本芸能文化論	Japanese Classical Performing Arts and Culture		2		1-3		DF837	選択		
D027103801	移民と教育の現代社会論	Educational Sociology of Migration		2		1-3		DF838	選択		
D027102401	日本文学資料論	Japanese Literature		2		1-3		DF824	選択		
D027102501	日本文学表現論	Japanese Literature and Culture		2		1-3		DF825	選択		
D027104501	日本文学享受論	Historical Study on Reading Japanese literature		2		1-3		DF845	選択		
D027102901	言語行動分析論	Analysis of Language Behavior		2		1-3		DF829	選択		
D027103901	理論言語学	Theoretical linguistics		2		1-3	○	DF839	選択		
D027104201	日本語教育論	Japanese Language Pedagogy		2		1-3		DF842	選択		
D027103201	英語圏文化論	Culture in English-speaking World		2		1-3	○	DF832	選択		
D027104901	比較文化論	Comparative Culture		2		1-3		DF849	選択		
D027105001	現代宗教論	Theorising Contemporary Religion		2		1-3	○	DF834	選択		
D027105101	多文化共生論	Studies of Multicultural Societies		2		1-3		DF835	選択		
D027105201	多文化共生論演習	Seminar on Studies of Multicultural Societies		2		1-3		DF835	選択		
D027105301	民俗資料論	Seminar on Folklore Studies		2		1-3		DF850	選択		
D027105401	科学技術と社会	Science, Technology and Society		2		1-3		DF851	選択		
D027105501	先史考古学	Prehistoric Archaeology		2		1-3		DF852	選択		
D027105601	教育システムの社会学	Sociology of Education Systems		2		1-3		DF853	選択		
D027105701	日本近現代史	Modern History of Japan		2		1-3		DF854	選択		
D027105901	ヨーロッパ近現代社会論	Modern and Contemporary Social History of Europe		2		1-3		DF856	選択		
D027106001	国際ソーシャルワーク論	Study of International Social Work		2		1-3		DF857	選択		
D027106301	西洋美術史	History of Western Art		2		1-3		DF858	選択		
D027106401	異文化間語用論	Intercultural Pragmatics		2		1-3		DF859	選択		
公共学コース											
D027200101	政治思想史	History of Political Thought		2		1-3		DG801	選択		所属する コースで 開講され ている授 業科目を 4単位以 上履修す る。
D027201501	日本政治史	Japanese Political History		2		1-3		DG815	選択		
D027200201	公共哲学	Basic Research Methodology in Humanities and Public Affairs		2		1-3		DG802	選択		
D027200401	国際経済論	International Economics		2		1-3	○	DG804	選択		
D027200501	公共政治論	Public Politics		2		1-3		DG805	選択		
D027200601	公共政策論	Public Policy: Citizens and Governance		2		1-3	◎	DG806	選択		
D027200701	環境経済論	Environmental Economics		2		1-3		DG807	選択		
D027201801	国際関係論	International Relations		2		1-3		DG818	選択		
D027200901	雇用政策論	Labor Market Policy		2		1-3		DG809	選択		
D027202001	移民研究	Migration Studies		2		1-3	○	DG820	選択		
D027201001	メディアリテラシー論	Media Literacy		2		1-3		DG810	選択		
D027201101	市民社会論	The theory of Citizenship Society		2		1-3		DG811	選択		
D027201301	司法福祉論	Forensic Psychology and Social Work		2		1-3		DG813	選択		
D027201601	社会思想史	History of social thought		2		1-3		DG816	選択		
D027201701	国際政策論	International Policy		2		1-3	○	DG817	選択		
D027202101	アメリカ外交史	History of American Diplomacy		2		1-3		DG818	選択		
社会科学コース											
D027300101	ミクロ経済学	Microeconomics		2		1-3	○	DH801	選択	所属する コースで 開講され ている授 業科目を 4単位以 上履修す る。	
D027300201	マクロ経済学	Macroeconomics		2		1-3		DH802	選択		
D027300301	計量経済学	Econometrics		2		1-3		DH803	選択		
D027300401	開発経済学	Development Economics		2		1-3	◎	DH804	選択		
D027300501	近代日本社会経済史	Social and Economic History of Modern Japan		2		1-3		DH805	選択		
D027300701	選択行動分析	Analysis of Choice Behavior		2		1-3	○	DH807	選択		
D027301101	行政法	Administrative Law		2		1-3		DH811	選択		
D027301201	労働法	Labor Law		2		1-3		DH812	選択		
D027301501	法哲学	Philosophy of Law		2		1-3		DH815	選択		
D027301701	マーケティング・サイエンス特論	Advanced Marketing Science		2		1-3		DH817	選択		
D027302001	企業会計	Corporate Accounting		2		1-3		DH818	選択		
D027301801	経営学特論	Management and Business Administration		2		1-3		DH819	選択		

自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の措置について

平成28年9月20日

学部教育委員会申合せ

平成28年9月20日

大学院教育委員会申合せ

(最近改正 令和7年4月1日)

自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の取扱いについては、下記のとおりとする。

1. 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴い、各キャンパスの最寄駅を運行する全線の列車が運行停止となった場合。
 - ①午前6時までに運行しない場合は、第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
 - ②午前10時までに運行しない場合は、第3、第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
 - ③正午までに運行しない場合は、第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。
2. 台風等により、気象庁から各キャンパスの所在地域に「特別警報（高潮及び波浪を除く）」、「暴風警報」又は「暴風雪警報」（以下「警報」という。）が発令された場合。
 - ①午前6時までに警報が解除されない場合は、第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
 - ②午前10時までに警報が解除されない場合は、第3、第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
 - ③正午までに警報が解除されない場合は、第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。
 - ④授業の開始後、警報が発令された場合は、当日のその後に開始する授業を臨時休講とする。
3. 各キャンパスの最寄駅を運行する全線の列車が運行停止とはなっていないが、台風の接近等により運行停止が見込まれる場合、又はその他の事由により通学及び帰宅が困難と判断される場合。

各部局の状況等を勘案し、教育担当理事がキャンパスごとに決定する。なお、台風等により、気象状況が時間の経過とともに悪化することが十分予測される場合は、前日までに休講の決定を行うことがある。
4. 部局の事情により、上記1～3の取扱いにより難しい特別の事情がある場合。

当該部局長の判断により取扱いを決定することができる。なお、この場合は、当該措置後、速やかに教育担当理事にその状況を報告する。
5. 休講等の措置に係る学生及び教員等への周知方法。

千葉大学学生ポータル及びホームページ等を活用し、速やかな周知を図る。
6. 教育実習等の場合の取扱い。

教育実習、臨床実習、介護等体験実習及びインターンシップ等の場合は、各実習先の指示に従う。
7. 自然災害等による甚大な被害により、交通機関の復旧が長期にわたる場合。

その状況に即し、学長が適宜決定する。

※1及び3の最寄駅は、「西千葉地区…JR 西千葉駅及び京成みどり台駅」、「亥鼻地区…JR 千葉駅及び京成千葉駅」、「松戸地区…JR 松戸駅及び新京成松戸駅」、「柏の葉地区…つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅」及び「墨田地区…東武亀戸線小村井駅、京成（ほか各線）押上駅及び京成（ほか各線）曳舟駅」とする。

授業時間割表

時限	時間
1時限	8:50~10:20
2時限	10:30~12:00
昼食時休憩	12:00~12:50
3時限	12:50~14:20
4時限	14:30~16:00
5時限	16:10~17:40
6時限	17:50~19:20